

～「過ごす・楽しむ・発見する」ことが出来る空港へ～

## 新千歳空港ターミナルビル「北海道ショールーム」第1期オープンから1ヵ月 —エンターテインメント施設・ラーメン道場に、延べ18万人以上のお客様がご来場—

北海道空港株式会社(本社:北海道千歳市、代表取締役社長:山本邦彦)が運営している新千歳空港ターミナルビルは、2011年7月15日「北海道ショールーム」の第1期オープンから1ヵ月が経過しました。

この度の第1期オープンによって、新千歳空港ターミナルビルは、到着ロビーの拡張、シートスペース拡充、フライトインフォメーションシステムの更新など機能性・利便性を大きく向上させました。また商業施設は、総店舗数を106店舗から167店舗に拡大し、世界初・空港初となるエンターテインメント施設も設置するなど、商業面積約25,000㎡(日本武道館のアリーナ(=2,513㎡)10個分)の一大商業施設となりました。

2011年12月に予定している第2期オープン時には、総店舗数が約180店となる予定です。

本ターミナルビルは、第1期オープン後、航空旅客や近隣住民など多くのお客様に来館いただいています。北海道内の注目ラーメン店10店が集結した「北海道ラーメン道場」は、約11万人のお客様にお越しいただきました。またエンターテインメント施設(「じゃがポックルシアター」「新千歳空港 万葉の湯」「ドラえもん わくわくスカイパーク」「シュタイフ ネイチャーワールド」「ロイズチョコレートワールド」)には、約7万2千人のお客様にお越しいただいています。また売上も物販店全体で前年比約10%増、飲食店全体では約30%増といずれも好調に推移しています。

来館されたお客様からは、「いろいろなお店があって面白かった。また来たいと思った。」(10代・女性)、「食べるお店も豊富で、空港へ来たときの楽しみが増えました。」(40代男性)、「空港とは思えないくらいお店があり、遊べる場所も充実して楽しいです。」(30代男性)などの声を頂いています。

新千歳空港ターミナルビルは、今後も、航空機利用のお客様のためだけでなく、空港にいらっしゃるすべてのお客様のために、「過ごす・楽しむ・発見する」ことができる時間消費型・滞在型の空港として、「北海道ショールーム」をコンセプトに国内初の「エンターテインメント空港」を目指します。



夏休みで賑わいをみせる新千歳空港ターミナルビル

本件に関するお問い合わせ先

北海道空港株式会社 総務部 広報課 担当 長谷川

TEL 0123-46-5111 FAX 0123-23-9352 (土・日・祝を除く 9:00~17:30)

E-MAIL yoshichika.hasegawa@hkkg.co.jp

本リリースや画像データはこちらのURLからダウンロードできます: <http://new-chitose-airport-open.com>